



第3回

サステナビリティ・フォーラム

より良い未来へ、ともに進もう。

東京 2020 大会をディーセント・ワーク実現のためのゲームチェンジャーに

Be better, together: Tokyo 2020 as Game Changers in Advancing Decent Work

共催: (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・国際労働機関 (ILO)

2019 年 9 月 18 日 (水) 13:00-16:00

受付開始: 12 時 30 分より

国連大学本部ビル 5 階 エリザベス・ローズ国際会議場 (渋谷区神宮前 5-53-70)

交通: JR 渋谷駅・地下鉄「表参道」駅から徒歩 10 分

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで1年を切りました。第3回サステナビリティ・フォーラムでは、過去2回のフォーラムの成果を踏まえ、労働CSRの実践に向けた具体的な取組を幅広く共有すると同時に、ディーセント・ワークの実現した社会に向けて、企業や市民がどのように取り組んでいくべきか議論します。ILOの100周年総会で採択された暴力とハラスメント撤廃に関する条約・勧告についても紹介します。

第一部(13:00~)

13:00-13:10	開会挨拶 山本 隆 (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 副事務総長 田口晶子 国際労働機関 (ILO) 駐日代表
13:10-13:30	東京 2020 組織委員会による基調報告 荒田有紀 持続可能性部長 「東京 2020 大会の持続可能性の取組について」
13:30-14:30	セッション 1 労働 CSR の現場での実践に向けて モデレーター: ヴィック・ヴァン・ヴェーレン ILO ジュネーブ本部企業局長 ・福家 智 日本航空株式会社 人財本部 人財戦略部 部長

	<ul style="list-style-type: none"> ・逢見 直人 日本労働組合総連合会 会長代行 ・下田屋 毅 一般社団法人 ASSC 代表理事 ・後藤 健太 関西大学教授
14:30-14:45	休憩

第二部(14:45～)

14:45-14:55	<p>特別講演</p> <p>スポーツ用品産業におけるディーセント・ワーク創出における課題 —アスリートの「無関心」を「関心」に変えるために—</p> <p>溝口 紀子 日本女子体育大学体育学部運動科学科スポーツ科学専攻教授 バルセロナ五輪柔道銀メダリスト</p>
14:55-15:15	<p>仕事の世界における暴力とハラスメント撤廃にむけて</p> <p>モデレーター：荒井 由希子 ILO ジュネーブ本部企業局多国籍企業ユニット上級専門家</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ IL0100 周年総会で採択された新しい国際労働基準（条約及び勧告）の紹介 ▪ 徳弘 欣也 東京 2020 組織委員会持続可能性担当副部長 ▪ 溝口 紀子 日本女子体育大学体育学部運動科学科スポーツ科学専攻教授、バルセロナ五輪柔道銀メダリスト

第三部(15:15～)

15:15-16:00	<p>セッション2</p> <p>ディーセント・ワークの実現した社会に向けて</p> <p>モデレーター：日比野 佑亮 東京 2020 組織委員会持続可能性事業課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 秋山伸一 厚生労働省大臣官房国際課長 ▪ 松井博志 ILO 使用者側理事・日本経済団体連合会 ▪ 郷野晶子 ILO 労働者側理事・日本労働組合総連合会 ▪ 小松弘尚 東京都都市整備局都市基盤部調整担当課長 ▪ 荒井由希子 ILO ジュネーブ本部企業局多国籍企業ユニット上級専門家 <p>小谷実可子さんからのビデオメッセージ</p> <p>ソウルオリンピックシンクロナイズドスイミング銅メダリスト、日本オリンピック委員会理事、世界オリンピックズ協会理事</p>
16:00	閉会